



命を守るために



～自分の命は自分で守る～



ふゆがたじこ ちゅうい 冬型事故に注意！



寒くなってきた、初雪も降りました。まだ、積雪になっていませんが、冬特有の危険について、各学級で指導しました。ご家庭でも以下の点の指導・声かけなどをお願いします。

※右記載は、ネットトラブル未然防止資料です。ご参考下さい。

①冬の間、自転車には乗らない。

(12月1日からは、友達と遊ぶ際に、自転車には乗らないよう全校指導しました。)

②道路を横断する時は、自分の目で左右を見て安全を確認する。

(車がスリップして止まれないときがあります！)

③登下校中に雪玉で遊ばない。(人・車・看板・民家に当てるトラブルがありました。)

④軒下には近づかない。(屋根から氷のかたまりが落ちてきます。落雪は大変危険です！)

⑤道路の雪山には絶対に登らない。

(道路にすべり落ちると人や車とぶつかることがあります、大変危険です！)

⑥「ぼうし」「手ぶくろ」を着用する。

(ぼうしは頭を守り体温を保ちます。ポケットに手を入れて歩くのは危険です)

⑦雪が積もっているときは、公園の遊具で遊ばない。

(正しく動かなかったり、雪が崩れたりして思わぬ事故になります！)

※冬期間、休み時間に外で遊ぶ場合は、帽子・手袋、上下の防寒着が必要です。服がぬれて、その後の学習に支障をきたすことがないように準備・着用をお願いします。登下校の際、高学年で手袋・帽子・ジャンパーを身につけていない子が、まだ多いです。家庭での声かけをお願いいたします。

メール配信でも、お伝えしていますが、今週不審者による児童へのつきまといが複数発生しています。学校職員による放課後の見回りおよび警察による巡視を実施していますが、放課後、一人遊びをしないように家庭でも声かけ下さい。不審者に遭遇した場合は、警察に通報後、学校にお知らせ下さい。ご協力よろしくお願いいたします。

保護者の皆様へ

子供をネット犯罪から守るために (スマートフォン・SNSの安全な利用)



北海道警察

毎年、多くの子供たちがSNSの利用に起因して福祉犯の被害に遭っています

【SNSの利用に起因する福祉犯被害少年の人数】



【罪種別割合（令和6年）】



【学級別割合（令和6年）】



「福祉犯」とは、児童買春や児童ポルノなど、少年の福祉を害する犯罪をいいます。

ケース1

同性同士だと思って写真をやりとりしたら…

下着姿の写真を送ったら、実は同性ではなく、送った写真をばらまくと脅迫されてしまった。



ケース2

「家出したい」と書き込んだら
親切な人が現れて…

SNSで声をかけてくれて、その人の家に行ったら、監禁されて性被害に遭ってしまった。



スマートフォン・SNSを安全に利用するために

◇「フィルタリングの設定」を！

◇「ペアレンタルコントロールの活用」を！

◇「家庭のルールづくり」を！

多くの被害を受けた子供が被害時にフィルタリングを利用していません。
利用時間の設定やアプリごとに許可または制限もできます。

「利用時間を守る」「寝室に持ち込まない」など家族で話し合って決めましょう。
「困ったときに家族に相談する」という内容を入れることも大切です。

動画で確認！

「フィルタリングの設定」と「家庭のルールづくり」などについて説明した動画を北海道警察のYouTube公式チャンネルで公開しています。

子供をネット犯罪から守るために
(スマートフォン、SNSの安全な利用)



北海道警察本部少年課

